

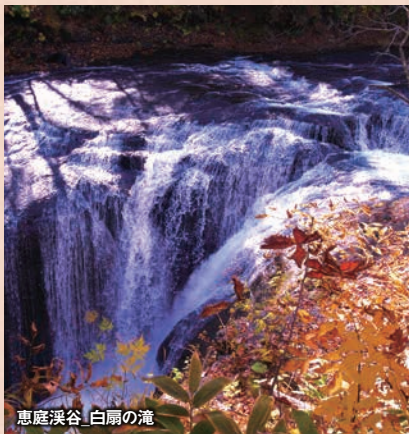
2024年
令和6年9月26日発行

秋号

Hokkaido Tourism Organization
北海道 観光レポート



秋の四季彩の丘



恵庭溪谷 白扇の滝



秋の釧路湿原



紅葉の駒ヶ岳

- 来道者数は3か月連続で100万人を突破
- 4～6月の外国人宿泊者数のうち台湾・韓国が約半数を占め、依然好調

トピックス

令和6年度通常総会を開催
グランドデザインの策定、組織名称の変更を行いました

結果報告：欧米豪FIT旅行者調査・インバウンド人流調査



北海道の延べ宿泊者数実績

2024年4-6月

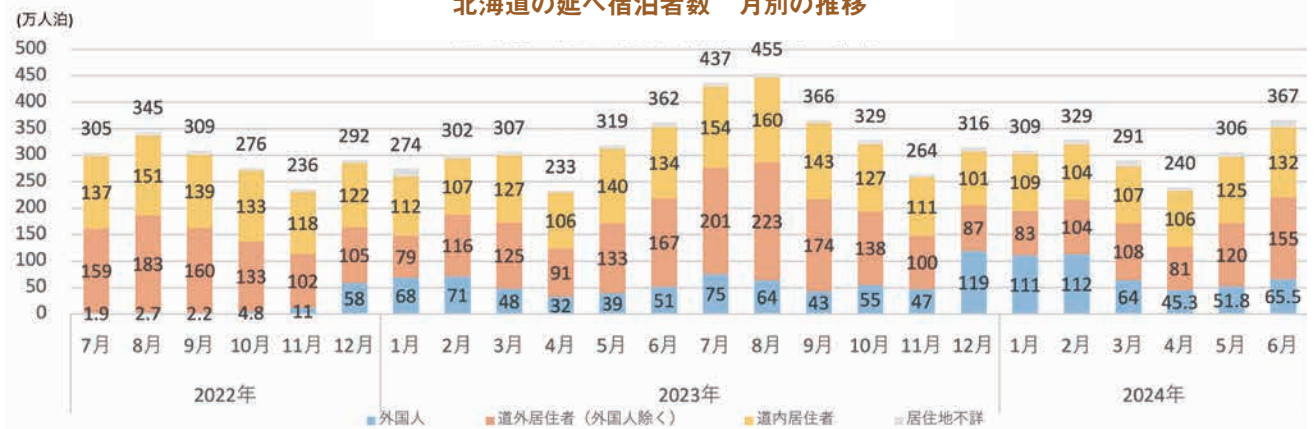
- 北海道の延べ宿泊者数(全体)は、4月は240万人泊(前年同月比+3.1%、2019年同月比▲0.7%)、5月は306万人泊(前年同月比▲4.0%、2019年同月比+1.5%)、6月は367万人泊(前年同月比+1.3%、2019年同月比+18.8%)であった。
- 北海道の日本人延べ宿泊者数は、4月は195万人泊(前年同月比▲2.9%、2019年同月比+0.4%)、5月は254万人泊(前年同月比▲9.1%、2019年同月比+5.3%)、6月は301万人泊(前年同月比▲3.1%、2019年同月比+23.5%)であった。
- 北海道の外国人延べ宿泊者数は、4月は45万人泊(前年同月比+40.3%、2019年同月比▲5.1%)、5月は52万人泊(前年同月比+32.6%、2019年同月比▲13.8%)、6月は66万人泊(前年同月比+27.7%、2019年同月比+0.9%)であった。
- 昨年対比では、延べ宿泊者数全体は4月、6月は上回ったが、5月は昨年を下回った。日本人延べ宿泊者数は、各月で昨年を下回ったものの、外国人延べ宿泊者数は各月で昨年来を大きく上回った。なお、2019年対比では、外国人延べ宿泊者数は全国では4-6月は大きく上回っており、北海道においては昨年12月以来、6か月ぶりに6月が上回った。
- 市場別の延べ宿泊者数は、4-6月の合計で台湾が38.3万人泊と最も多く、次いで韓国32.9万人泊、中国13.3万人泊、香港10.9万人泊、シンガポール9.7万人泊、米国7.1万人泊、タイ6.8万人泊となった。

延べ宿泊者数データ(2024年4-6月第2次速報)

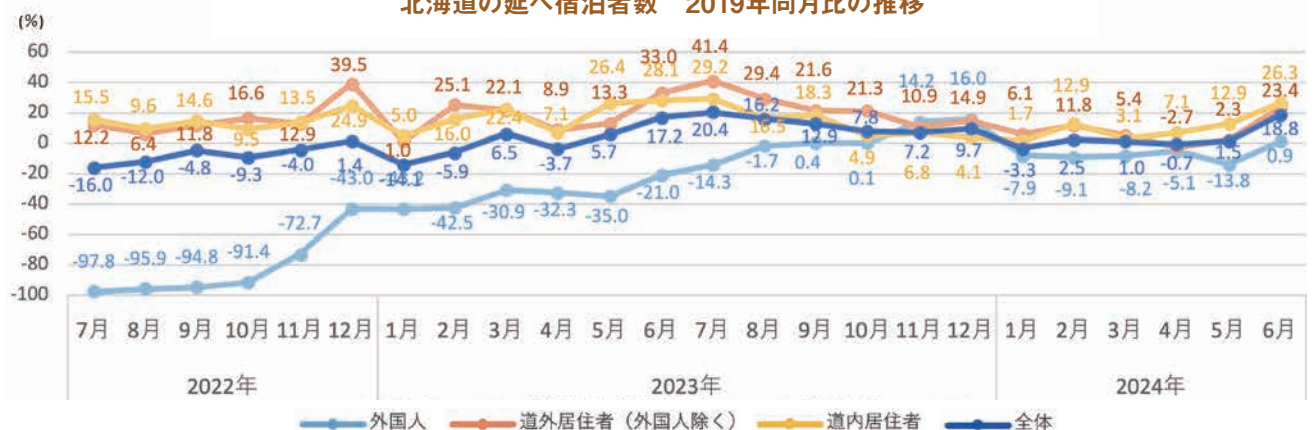
(単位:万人泊)

		2024.4			2024.5			2024.6		
		延べ宿泊者数	前年同月比	2019年同月比	延べ宿泊者数	前年同月比	2019年同月比	延べ宿泊者数	前年同月比	2019年同月比
北海道	全体	240	+3.1%	▲0.7%	306	▲4.0%	+1.5%	367	+1.3%	+18.8%
	日本人	195	▲2.9%	+0.4%	254	▲9.1%	+5.3%	301	▲3.1%	+23.5%
	外国人	45	+40.3%	▲5.1%	52	+32.6%	▲13.8%	66	+27.7%	+0.9%
全国	全体	5,190	+10.1%	+2.3%	5,390	+5.0%	+4.9%	5,036	+6.3%	+9.9%
	日本人	3,739	+0.3%	▲5.2%	4,034	▲4.7%	▲3.2%	3,689	▲2.4%	+1.9%
	外国人	1,450	+46.9%	+28.5%	1,356	+50.4%	+39.4%	1,347	+40.7%	+40.5%

北海道の延べ宿泊者数 月別の推移

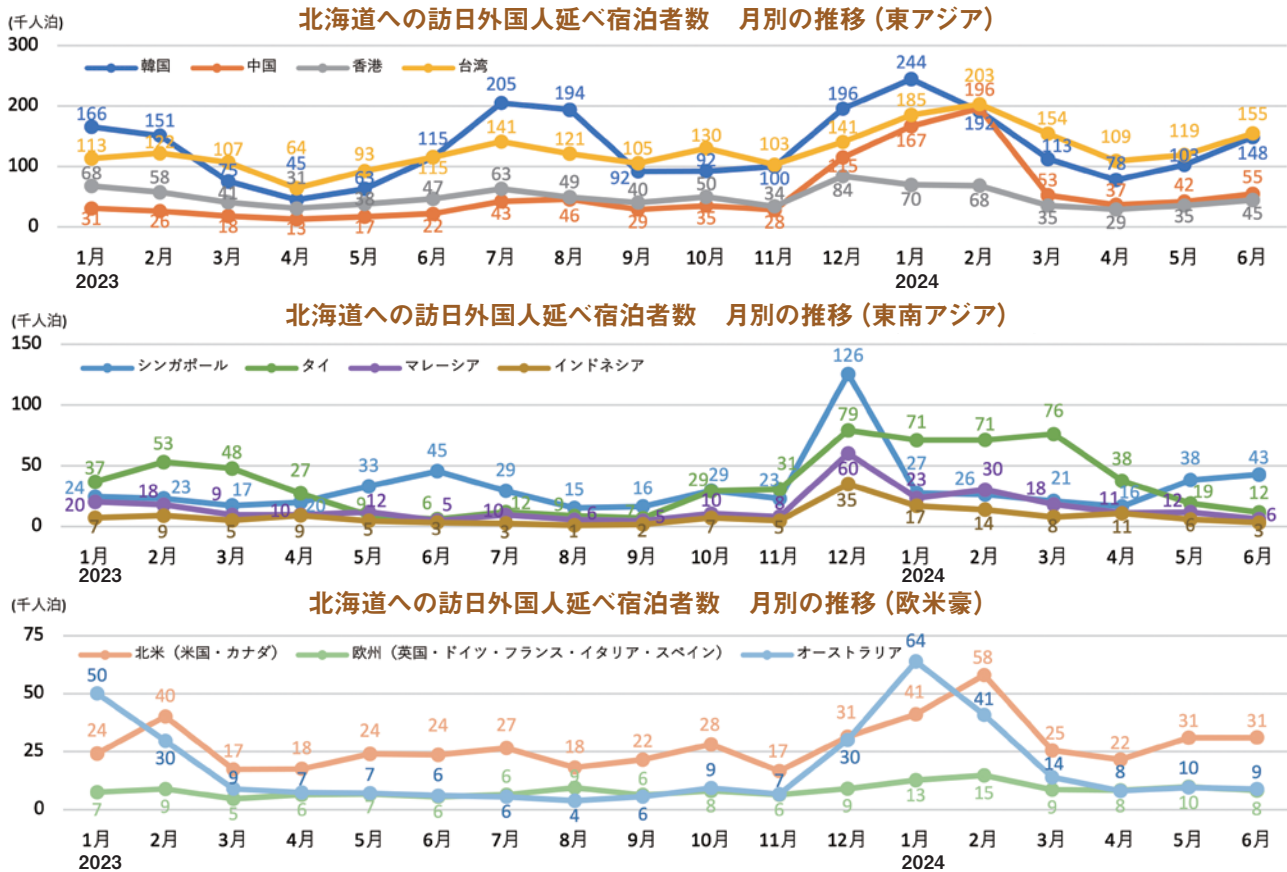


北海道の延べ宿泊者数 2019年同月比の推移



出典:「観光庁宿泊旅行統計調査」をもとに当機構作成
注1:2024年1月~2024年6月は速報値。

北海道への訪日外国人延べ宿泊者数 市場別推移



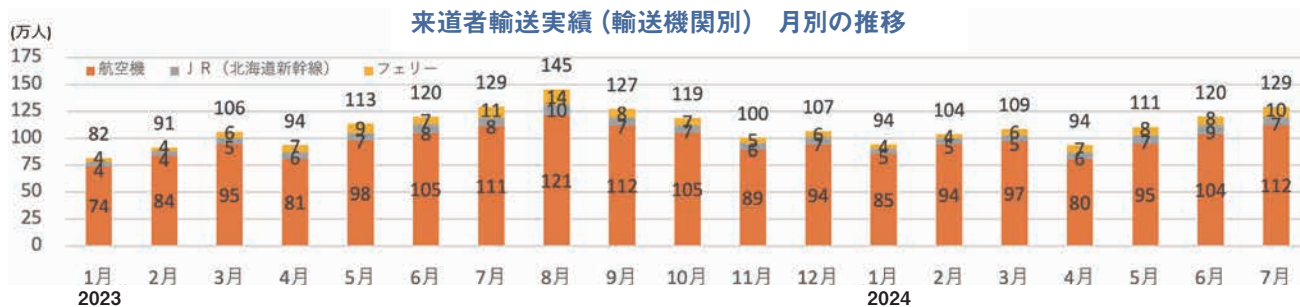
出典:「観光庁宿泊旅行統計調査」をもとに当機構作成(延べ宿泊者数が多い国・地域を抽出)
注1: 2024年1月~2024年6月は速報値。

来道者輸送実績

2024年5-7月

- 全体の来道者数は、5月は110.6万人(前年同月比▲2.5%、2019年同月比▲7.5%)、6月は120.1万人(前年同月比+0.1%、2019年同月比▲0.7%)、7月は129.0万人(前年同月比▲0.2%、2019年同月比▲0.7%)であった。
- 5月から3か月連続で100万人を突破した。6月は3か月ぶりに昨年実績を上回ったものの、7月は昨年実績を下回った。また、コロナ前の2019年同月比ではいずれも実績を下回っている状況である。輸送機関別では、7月は、JRは前年同月比▲6.0%、フェリー同▲7.3%と減少したものの、航空機が同+0.8%と5か月ぶりに増加しており、回復傾向にある。(単位:万人)

	2024.5			2024.6			2024.7		
	来道者数	前年同月比	2019年同月比	来道者数	前年同月比	2019年同月比	来道者数	前年同月比	2019年同月比
全体	110.6	▲2.5%	▲7.5%	120.1	+0.1%	▲0.7%	129.0	▲0.2%	▲0.7%
航空機	95.1	▲2.7%	▲6.3%	103.6	▲1.1%	▲1.2%	111.9	+0.8%	+0.8%
JR	7.4	+6.0%	▲9.8%	8.5	+8.0%	+1.5%	7.4	▲6.0%	▲3.5%
フェリー	8.1	▲7.1%	▲18.1%	8.0	+8.6%	+3.9%	9.8	▲7.3%	▲13.1%



出典:「HTO来道者輸送実績調査」をもとに作成

会員向け

輸送機関別来道者(発地別、着地別)及ビインバウンド位置情報データ(人流データ)はコチラ ▶

北海道の観光統計データ <http://statistics.visit-hokkaido.jp/>



令和6年度通常総会を開催 グランドデザインの策定、組織名称 変更を行いました。



HTOは6月24日、令和6年度通常総会を札幌パークホテルで開催し、令和5年度事業決算（議案第1号）のほか、グランドデザイン案について（議案第2号）、令和6～7年度理事・監事の選任について（議案第3号）、法人名称変更に伴う定款変更（議案第4号）などについて、満場一致で可決承認されました。

会長に再任となった小金澤健司氏（株式会社アイティ・コミュニケーションズ代表取締役会長）は総会終了後の記者会見にて、承認されたグランドデザインに基づき、2030年度までに北海道の総観光消費額をコロナ前（2019年）の倍となる3兆円とすることを目標として挙げました。

目標達成のためには外国人・道外客・道内客それぞれの顧客満足度の目標値を設定し、それと合わせて、観光業界・直接観光に携わる方たちの従業員・経営者・地域住民の満足度の目標値も設定することが重要と述べました。

また、昨今の航空燃料不足によるインバウンドの取り込みが課題となっていることも踏まえ、インバウンドだけでなく、道内の旅行需要喚起も重要であると述べ、今年は道内の多くの学校で夏休みが延長されることから、道内旅行の喚起策（今年は道内夏旅!!）について道庁と連携しながら取り組んでいくと説明しました。

昨年度より発足した観光地づくり・プロモーション・マーケティングの3部会での活動を軸としながら、今後も北海道観光の更なる発展に向け活動を継続して参ります。

◆法人の名称変更について

HTOは2022年7月に発足した改革プロジェクトを皮切りに、組織体制・事業内容の見直しなどの改革を進めております。この度、2008年から続く名称（北海道観光振興機構）をシンプルでわかりやすく、覚えやすい「北海道観光機構」に変更いたしました。今後も更なる改革推進と北海道観光の活性化に取り組んで参ります。

|| HTO新ロゴマーク ||

HTO
HOKKAIDO TOURISM ORGANIZATION
北海道観光機構

◆HTOランドデザインについて

2030年度までの北海道観光の目指すべき将来像や地域づくりの方向性、その推進の取組等を示した、ランドデザインを策定しました。詳細についてはHTOホームページ内にも掲載しています。

基本理念

観光に関わる業種を基幹産業と位置づけ、道民と一体となって、観光で地域を活性化します。

MISSION

設立の目的、使命、
存在意義

観光は幅広い業種を含む総合産業であり、各界の力を結集します。
新たな価値を創り出し、観光消費額を最大化します。
地域に寄り添い課題を解決し、持続可能な地域づくりに貢献します。

VISION

将来のあるべき姿

ハワイを超える!(域外来訪者1千万人の実現とシビックプライドの両立)
北海道を世界をリードする観光地に導く司令塔になります。

CONCEPT

具体的な行動指針、
価値基準

北海道の地域と産業を牽引する観光の司令塔としての役割を果たします。
マーケティングを重視しデータに基づく観光施策を立案します。地域の課題を把握し観光の力でその解決を目指します。今ある魅力を磨き上げ、たくさんの人たちと繋がっていきます。機動性と専門性を発揮します。

KGI

数値目標

総観光消費額 3兆円(2030年度)
※目標達成に向け、顧客満足度、従業員満足度、経営者満足度、
地域住民満足度等をKPIとして設定



HOKKAIDO LOVE!



北海道観光PRキャラクター

キュンちゃんグッズ

好評発売中!!

HTOでは、北海道観光PRキャラクター『キュンちゃん』グッズを販売しております。
キュンちゃん公式ネットショップでは、ぬいぐるみやクリアファイルなど様々なアイテムを取り扱っております。
観光プロモーション等でノベルティ、景品としてご利用の場合は、**お得な会員価格**でご購入いただけます。



キュンちゃん公式ネットショップ

新商品も続々登場!



<https://kyunchanshop.official.ec/>

キュンちゃんグッズを販売していただける店舗も募集しております。

詳しくはマーケティング・DX部までお問い合わせ下さい。



お問い合わせ先

☎ 011-231-0941 (担当:津田・若月) ✉ kyunchan_ec@visithkd.or.jp

※各部で展開している事業の一例をご報告いたします。

プロモーション部(国内)

「熊本県～北海道 観光交流イベント」の開催

「熊本県～北海道 観光交流プロモーション」の一環として、7月25日(木)に熊本県の地元メディア・旅行会社を対象に北海道観光情報交換会を開催。(北海道参加6団体と熊本県参加8団体による商談会を実施)7月26日(金)にはチャーター便「札幌(新千歳)～熊本」運行に伴い、阿蘇くまもと空港にてくまモンとキュンちゃんが新千歳空港行搭乗者向けのお見送りとお見送りとお見送りと阿蘇くまもと空港到着のお出迎えのPRを実施しました。併せて阿蘇くまもと空港内特設スペースにて、北海道参加地域が出展し、各観光地の魅力や文化を発信しました。今後もメディアタイアップ情報発信支援事業活用PR等により相互送客促進を図って参ります。



2010©熊本県くまモン

プロモーション部(海外)

「香港ブックフェア2024」に出展

7月17日(水)より7日間、アイヌ民族文化財団と連携して、「香港ブックフェア2024」に出展しました。北海道ブースは、ウボボイ及び周辺観光地や、北海道四季折々の魅力を中心にプロモーションを行い、パンフレットやグッズなどの配布に加え、アイヌ伝統芸能である、ムックリの演奏や、歌と踊りを披露しました。また、アイヌ民族衣装の試着体験や、VRを活用した体験イベントを通じて、北海道の魅力を感じていただきました。7日間で99万人が来場し、北海道ブースにもご家族連れ、友人同士など様々な客層が訪れ、SNSフォロワーも2,500名以上新規獲得することができました。今後も北海道ファンへ継続的に情報発信して参ります。



総務部

観光地(札幌大通公園)清掃活動を行いました

6月15日(土)、HTO職員及び会員企業様合同で夏の観光シーズン最盛期前の札幌大通公園1丁目～3丁目間の清掃CSR活動を実施しました。

6月のYOSAKOIソーラン祭りを皮切りに多くの観光客で賑わう大通公園にて、職員、会員企業様15名は揃いのHOKKAIDO LOVE Tシャツを着て公園内のゴミ拾いを行いました。

北海道観光を盛り上げる使命のHTO職員は訪れる観光客の皆様気持ちよく過ごして頂ける様、晴天の中汗を流しました。当日は作業開始前に北海道観光PRキャラクターの「キュンちゃん」・テレビ塔キャラクターの「テレビ父さん」が登場し多くの観光客、市民の皆様と触れ合い、写真撮影で賑わいました。HTOとして独自の社会貢献活動でしたが、参加者からは高評価を得たところです。今後は多くの会員様と協働出来る活動として継続して参ります。



マーケティング・DX部

欧米豪FIT旅行者調査・インバウンド人流調査の実施

4月より欧米豪FITに焦点を当てた二次交通とAT(アドベンチャー・ツーリズム)関連の調査を実施しました。ガイド利用率が低く(8%程度)、AT関連の支出は北米(米国、カナダ)が最も高く6.2万円であることなど、興味深い結果が得られました。また、人流に関しては6圏域ごとの来訪者国籍や訪日リピーター比率などをまとめております。

※詳細はP8～9に特集記事を掲載しておりますので、是非ご一読ください。

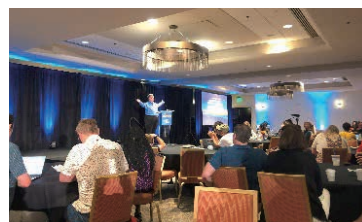
観光戦略部

伴走支援型観光地域力強化推進事業における採択事業(1次・2次)が決定しました

令和6年度「伴走支援型観光地域力強化推進事業」の応募案件について、厳正なる審査の結果、5月28日に1次募集36件、7月12日に2次募集7件、合計43件が採択され、事業を実施しています。今後、採択団体向けにSNSやWEBサイトを活用した情報発信についてのセミナーの開催、コンサルと実証事業、アドバイザー派遣を行うなど、事業の成果を出せるよう伴走して参ります。

Adventure ELEVATE North Americaに参加

6月に米国ノースカロライナ州アッシュビルで開催されたAdventure ELEVATEに、道内のツアーオペレーターと共に参加しました。前よりも「北海道を知っている」「北海道に行ってみたい」という声が格段に増え、ATWS2023北海道の開催効果が伺えました。欧州と同じくアクティビティ+文化を求める声が多く、特にハイキングを好む会社が目立ちます。また、Women onlyの旅行会社があることも北米の特徴と感じました。実際のツアー販売を目指し、今後も情報発信等に注力して参ります。



HTO 事業活動予定

2024年10月～

プロモーション部(国内)

「おは朝パーク」に初出展!

11月16日(土)、17日(日)の2日間、朝日放送テレビのリアルイベント「おは朝パーク」(大阪)に初出展します。(2023年実績2日間 54,499名)

北海道の閑散期に向けて、冬のアクティビティや温泉、食を中心としたプロモーションの他、搭乗者キャンペーン、旅先納税の告知等、関西圏ファミリー層へPRしていきます。



プロモーション部(海外)

「ワールドトラベルマーケット2024」に出展

11月5日(火)から英国ロンドンで開催される、英国市場最大規模のBtoB旅行見本市「World Travel Market(WTM) 2024」にブース出展いたします。

また、11月8日(金)にはドイツ・フランクフルト日本国総領事館にて、「北海道観光セミナー(BtoB)」を主催し、訪日旅行の販売に意欲を示す現地旅行会社を招き、北海道PRを行います。



ATWS2024はパナマで開催、ガイドや旅行会社と共に参加

10月7日(月)～10日(木)にパナマで開催されるATWS2024にガイドやツアーオペレーターと共に参加します。今年は、北海道アドベンチャートラベルガイドが案内する特別な体験を含む旅行商品に注力しており、それら商材を各国から参加されるアドベンチャートラベルの関係者に紹介するとともに磨き上げを行う予定です。さらに11月にはAdventure Week Okinawaが開催されることもあり、この機会を活かしてPRを続けていきます。



記憶に残る フラノエリアにおけるワインツーリズム促進事業

伴走支援型観光地域力強化推進事業における広域連携事業の一つ、「記憶に残る フラノエリアにおけるワインツーリズム促進事業」(富良野市)において、昨年度の内容をブラッシュアップした「タクシーで巡るフラノのワイン旅」を販売中です。

実施日程は10月の土日祝日の9日間。富良野地域ワインコンシェルジュがツアーガイドとなり、富良野エリアにある3つのワイナリーをタクシーで巡ります。



北海道の観光消費額増大に向け、アドベンチャーツーリズム(以下「AT」という。)関連事業を高い精度で遂行するため、欧米豪FIT(個人旅行者)の属性や趣向、二次交通利用や移動手段、課題点等の把握とともに、インバウンド人流データによる移動ルートや移動量の分析等を通じ、高付加価値な商品造成や販売促進に繋げることを目的として、調査を実施しました。本調査事業の調査結果(中間)について報告いたします。

1. 欧米豪FIT旅行者調査

- 欧米豪FITに対し、道内7空港(新千歳、函館、旭川、稚内、帯広、釧路、女満別)にて聞き取り調査を実施
- 回答数637件
- 調査時期:2024年4月~6月

	北米	オセアニア	欧州
性別	男性が62.7%と高い	男性が57.7%と高い	男性が65.6%と高い
年代	10,20代が31.1%と最多 次いで50代が20.5%	10,20代,30代が 同率21.5%で最多 60代以上が28%	10,20代が34.0%と最多 次いで30代が29.9%
居住地	アメリカ・カナダ	オーストラリア、 ニュージーランド	ドイツ、フランス、 英国等
職業	社員の比率が高い	社員の比率が高い リタイア層の比率が高い	社員の比率が高い 学生の比率が高い
年収	1,501万円超が49.2%	1,501万円超が28.2% 901~1200万円の中間層も多い	1,501万円超が18.9% と他圏域と比べて最も低い 451~600万円も多い
来道起点	新千歳空港が中心	新千歳空港が中心	新千歳空港が中心
立寄り地 宿泊地	札幌、小樽、 旭川、登別 等	札幌、小樽、 富良野・美瑛、函館 等	札幌、小樽、旭川、 富良野・美瑛、登別 等
平均宿泊日数	5.2日	6.6日	6.9日
交通手段	鉄道、レンタカー、バス	鉄道、レンタカー	鉄道、レンタカー、バス
離道起点	新千歳空港	新千歳空港	新千歳空港
宿泊費	8.9万円	11.1万円	9.8万円
交通費	2.8万円	3.3万円	3.3万円
人気 コンテンツ	ウォーキング比率が高い サイクリング比率も相対的に高い	ウォーキング比率が高い	ウォーキング比率が高い 野生動物観察比率も相対的に高い
ガイド利用率	8.2%	7.4%	7.4%
支出限度平均額	6.2万円	5.5万円	3.7万円

<分析結果>

- 入道初日・離道直前の動線は札幌・新千歳間が高い傾向
来道初日の宿泊先のうち56%、離道前日の宿泊先のうち59%が札幌泊であり、初日・最終日は新千歳空港に近いエリアでの宿泊を前提に動くことが明らかになった。
- 道内宿泊日数は、「欧州」「オセアニア」「北米」の順に長い
JNTOが示す全国的な平均宿泊日数と同様の傾向が見られる。
※2023年訪日外国人消費動向調査結果及び分析との比較
- ATガイド利用率は8%に留まり、道内での体験実施は体験プログラムに帰属しないウォーキングが最も高い。
ガイド「非利用」の理由は「ガイドがいることを知らなかった」が42%で最多。「予算が合わなかった」は5.1%。
- 北米市場はレンタカー利用率が低く、欧州市場はタクシー利用率が低い。

<今後に向けた誘客ポイント>

上記調査結果から導き出された、誘客ポイントについてエリア毎に「交通」・「AT」の2つの視点からご紹介します。

	北米	オセアニア	欧州
交通の視点	他圏域と比較しレンタカー利用率は低く、夜間帯での外食比率が高い。そのため、鉄道・バスの交通が整備された札幌市・中核都市でのナイトタイムエコノミーコンテンツの訴求が効果的である。具体的には、旅ナカにおける宿泊施設と連携した滞在手法・目的地までの交通機関係情報の提供や、飲食店のGoogleビジネスプロフィールの最新化・情報量拡充等が求められる。キーワードは「梯子酒」「北海道ならではの食や酒」「地元住民が知る店」等。	鉄道利用率が高く、レンタカー利用率も高いものの、一方でバスの利用が他圏域と比べ少ない。函館・洞爺・富良野・美瑛等・ニセコ・大雪山等、新千歳空港からの遠出を厭わない傾向にある。そのため、山岳リゾート・自然豊かな訪問地であることを謳うことができれば、札幌圏からの長距離移動・ロングステイが叶うターゲット市場である。一方で目的地となるエリアが、レールバスをうまく組み合わせた旅程が適切なエリアと、レンタカー利用の方が効率的なエリアの両極に分かれるケースがあり、鉄道旅・レンタカー旅の2方面に切り分けた情報発信・訴求が望ましい。	函館空港をはじめとする道内地方空港経由の来道が他圏域と比べ最も高く、地方空港IN・新千歳OUTの旅程を組む傾向が高い。タクシーの利用率が他圏域と比べ最も低いことから、公共交通機関を使った移動を柔軟に行っていると見られる。地域のアイコンとなる主要スポットを大きく訴求し、その近隣・周辺にあるスポットも併せて紹介することや大手口コミサイトでのスポット登録することで周遊を促すこと等が効果的である。
ATの視点	既に実施率が高い種別のATコンテンツは引き続き訴求強化。一方で、実施率が上位ではないがサイクリング・野生動物鑑賞の満足度は他市場と比較し高いため、訴求強化やガイド付き高付加価値コンテンツの造成を重点的に行うことが効果的である。	ウォーキングの実施率が他圏域と比べ最も高く、かつ上述の通り長距離移動も厭わないタイプであるため、ゆったりと山岳・自然スポットに滞在しガイドングを付帯したコンテンツが刺さりやすい市場だと考えられる。また、長距離移動・ロングステイを好む市場だからこそ、旅程を柔軟にコントロールできる質の高いスルーガイドの利用促進が効果的である。	野生動物観察の実施率が他圏域と比べ高いが、欧州におけるWildlife Tourism(野生動物を対象とする観光市場)では「誰が、どのように管理/共生しているのか」が問われやすく、道内の野生動物鑑賞における受入側の体制づくり・思いについてガイドが解説できる教育プログラム等が必要である。また、キャンプ・温泉等幅広いATコンテンツが選ばれる傾向にあるため、地域側も多様なオプションを準備した上で旅行者に対峙することが求められる。

2. インバウンド人流データ調査

調査対象

北海道(全道)に滞在した外国人旅行者
道央圏、道南圏、道北圏、オホーツク圏、十勝圏、釧路・根室圏の6つの圏域ごとに集計

調査方法

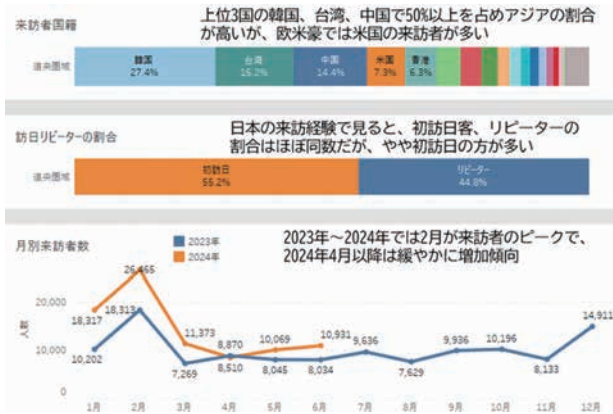
株式会社ナビタイムジャパンが運営する訪日外国人向け観光・ナビゲーションアプリ
「Japan Travel by NAVITIME」で取得したGPSデータ

調査時期

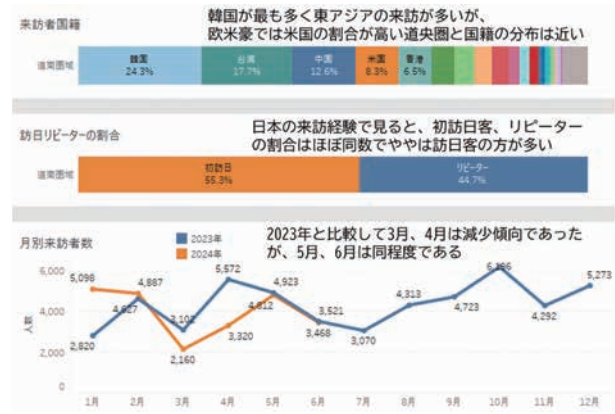
2024年4月～6月 **有効回答数** 2,465サンプル(そのうち欧米豪は378サンプル)

本レポートでは6圏域ごとの来訪者国籍、訪日リピーターの割合、月別の来訪者数の傾向をまとめました。各圏域のインバウンドの特徴についてご紹介します。

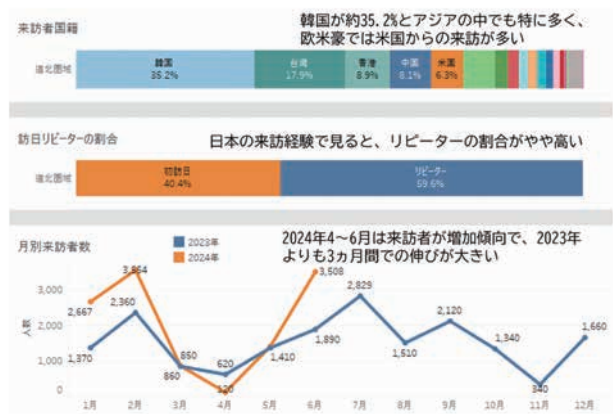
■ 道央圏



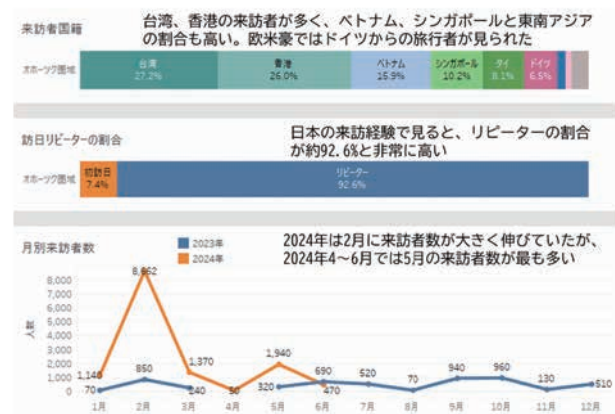
■ 道南圏



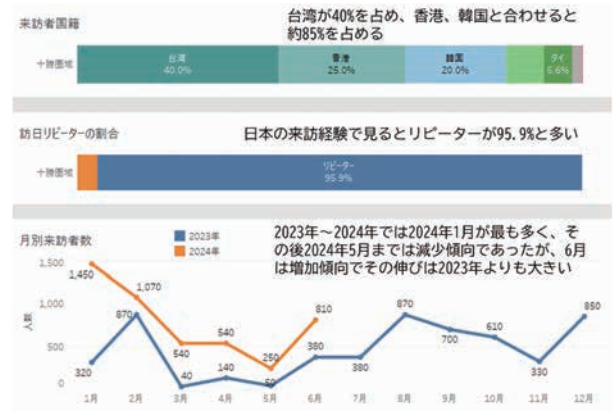
■ 道北圏



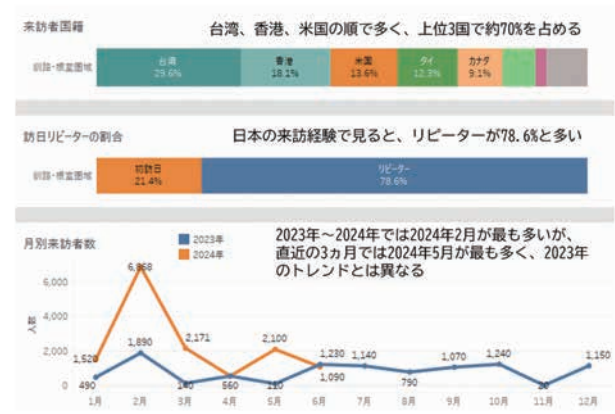
■ オホーツク圏



■ 十勝圏



■ 釧路・根室圏



集計したインバウンド人流データについて、HTO会員は北海道の観光統計データサイトから確認できます。■北海道の観光統計データ：<https://statistics.visit-hokkaido.jp/>

今回のレポートでは圏域別にデータをまとめておりますが、データサイトでは市町村別だけでなく、スポット別(最小125m単位)でもインバウンドの人流動向を把握することが可能です。上記情報の他、直前直後の滞在、周遊ルート、滞在日数などを掲載しております。各地域におけるインバウンドの情報分析、戦略策定に是非ご活用ください。

インバウンド人流分析(会員向け)

- 来訪者属性(会員向け)
- エリア別動向
- 市町村別来訪状況(会員向け)
- 市町村別来訪状況(会員向け)
- 来訪者属性(会員向け)
- 来訪者属性(会員向け)

キュンちゃんXフォロワー10万人への道



キュンちゃんが北海道ファン・キュンちゃんファンと一緒に北海道を盛り上げるため、5月末から「キュンちゃん」Xフォロワー10万人を目指し、色々な活動やイベントに出演し、PRを行っています。その取り組みの一部をご紹介します。

各種フォロワー獲得展開・イベント参加等により、5月30日からの約3か月間で5,000名以上のフォロワー増となりました！



RISING SUN ROCK FESTIVAL 2024 in EZO

- 8月16日、17日、石狩湾新港特設会場にステージを仮設して行われる道内最大級の野外音楽イベント「ライジングサン・ロックフェスティバル」(略称RSR)にて、「キュンちゃん」限定コラボグッズを販売しました。
- 用意した缶バッジ(300個)とステッカー(500枚)は、16日、17日両日も昼過ぎには完売し、予想を大きく上回る売れ行きでした。完売後も商品を求めてHTOのブースにいらっしゃるお客様が絶えませんでした。
- 同時に、HTOのブースを訪れる方々へキュンちゃんの認知度を調査する「アンケート」をとりました。その結果は、道外の方の約7割の方が既に知っているとのこと、キュンちゃんの認知度の高さを実感！
- X10万人プロジェクトの周知も行き、まだフォロワーではない方には小金澤会長から交付された「辞令名刺」を使いフォローいただき、この2日間で約200人のフォロワーが増えました！

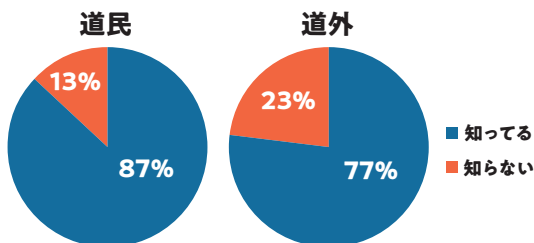
※限定グッズ



缶バッジ



ステッカー



	知っている	知らない	合計
道民	86.9%	13.1%	100%
道外	77.0%	23.0%	100%
合計	346	66	412



8/17完売後の様子

キュンちゃん公式Xフォロー 10万人キャンペーンがスタート!!

第1弾 7/29~8/9 「フォロー&リポストキャンペーン」

期間中に公式アカウントをフォローし、対象投稿をリポストで抽選で1組様に「OMO5函館(おも)by星野リゾート」ペア宿泊券をプレゼントするキャンペーンを実施!多数の応募をいただき、キャンペーン期間中約2,000の新規フォロワーが増えました!



第2弾 8/14~9/16 「キュン旅キャンペーン」

北海道内の周遊促進を目的にぬいぐるみを使った「ぬい撮り」で北海道各地の魅力を発信するキャンペーンを実施。期間中に公式アカウントをフォローして対象の指定ハッシュタグ(#キュン旅リレー)と撮影場所のハッシュタグをつけて投稿すると抽選で「旭岳ロープウェイのペア乗車券」や「白い恋人パークの限定チョコレート」などキュンちゃんゆかりの地から景品をプレゼント!



今後、HTOでは独自の企画を継続して参ります!!お楽しみに!!

キュンちゃん商標使用許諾料無料の扱いについて(会員様限定)

HTOでは「キュンちゃん」をより身近に感じていただきたく、期間限定で31種類の対象デザインを使用する場合、会員の皆様の商標使用許諾料を無料の扱いとします。また、無料となるイラストを増やします!

販促用や販売用のグッズ製作において、皆様のクリエイティブなアイディアで「キュンちゃん」を活用してください※詳しくは事務局(TEL.011-231-0941)までお問い合わせください



従来の使用許諾料

9月から

- ◎配布用印刷物 無料 → 無料
- ◎販売用グッズ 有料 → 無料
- ◎販売用商品 有料 → 無料

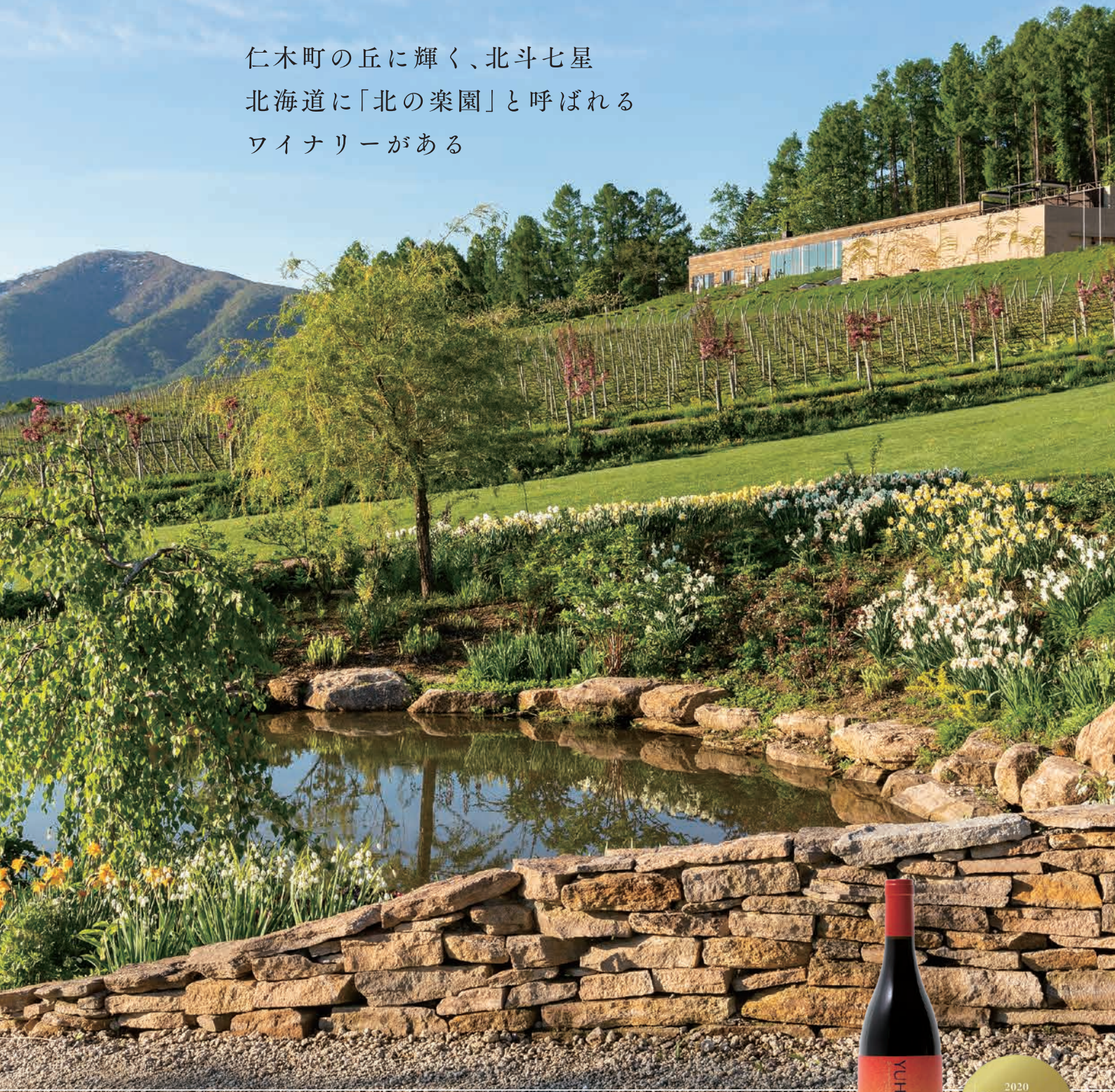
※会員様向け無料対象イラストの範囲を拡大しました

※立体物およびデジタルデータは従来通り有料の扱い

※参考 従来の商標使用許諾料

販促用グッズ~製造原価×製造数×3%、販売用グッズ~販売価格×販売総数×3%

仁木町の丘に輝く、北斗七星
北海道に「北の楽園」と呼ばれる
ワイナリーがある



NIKI Hills Winery

〒048-2401 北海道余市郡仁木町旭台148-1
Tel. 0135-32-3801 / 営業時間 10:00～16:00 (不定休)
<https://www.nikihills.co.jp>



website

アクセス

- ・札幌から車で約1時間
- ・後志自動車道余市ICから約15分
- ・JR仁木駅よりタクシーで約5分



@nikihillswinery_official

